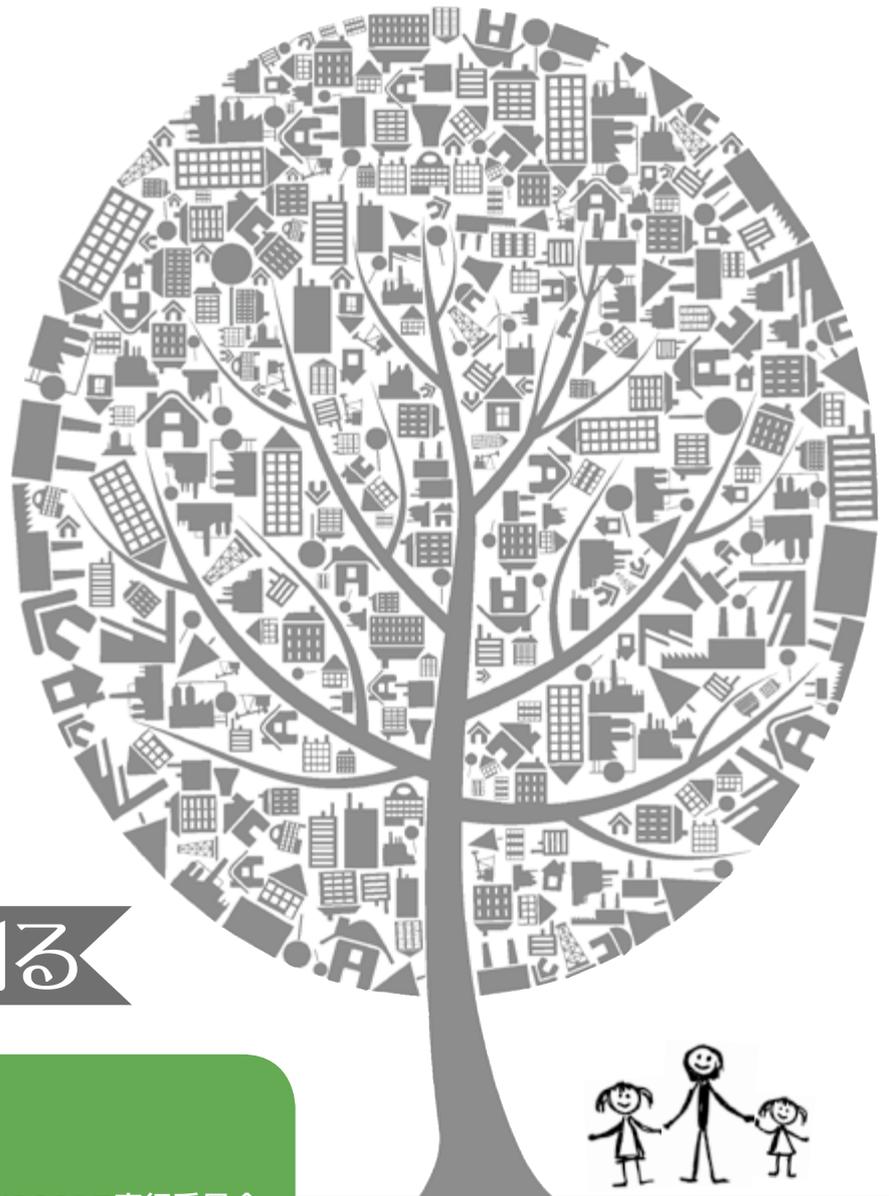


市民社会をつくる



ボランティア フォーラム

TOKYO
2015



今を想い、

未来を創る

- 主 催
東京ボランティア・市民活動センター
- 企画運営
市民社会をつくるボランティアフォーラムTOKYO2015実行委員会
- 後 援
東 京 都
- 協 賛
NECネットエスアイ株式会社
公益財団法人 損保ジャパン日本興亜環境財団
中央ろうきん社会貢献基金
トヨタ自動車株式会社
株式会社三菱東京UFJ銀行
- 協 力
株式会社ガイア

2015年 | 2月 | 6日(金) - 8日(日)

会場 飯田橋セントラルプラザ ほか

東京ボランティア・市民活動センター TEL 03-3235-1171 FAX 03-3235-0050
HP <http://www.tvac.or.jp> Facebook <https://www.facebook.com/voluntaryforumtokyo>

市民社会をつくるボランティアフォーラムTOKYO2015 趣旨文

ボランティア活動や市民活動に関心のある方々、また、実際に取り組んでいる方々を対象に、「市民社会をつくるボランティアフォーラムTOKYO 2015」を開催いたします。

「市民社会をつくるボランティアフォーラムTOKYO」は、現代社会のさまざまな問題に焦点をあて、多くの市民がそれを共有し、考えるためのイベントとして、2004年から開催してきました。

このフォーラムは、初回以来一貫して、分野、地域、セクターを横断したボランティア・市民活動にかかわるメンバーで実行委員会を組織し、実践の中で直面している課題や想いをもとに、時間をかけて協議し、つくってまいりました。新たな気づきにつながる機会になるよう、今年度は初めて公募分科会も設け、ボランティアな参画の輪を広げました。

初回の開催から10年が経過し、次の10年への新たな一歩となる今年度のテーマは、「今を想い、未来を創る」です。

誰もが自分らしく生きていくことのできる豊かな社会を築くために、社会の現状や今ある課題に想いを馳せ、ボランティア活動や市民活動のつながりから生まれる可能性を考え、ともに未来を創っていききたいという想いから、このテーマを掲げました。

社会の課題やニーズがより多様化・複雑化している中で、それらに柔軟に対応し、ともに解決していく、ボランティア活動や市民活動への期待は、ますます高まっています。

参加者のみなさんの声や想いを大切に、このフォーラムを、誰もが参加できる市民活動、市民社会を考える機会にしていきたいと考えます。みなさんのご参加をお待ちしています。

スケジュール&会場

日	時間	飯田橋セントラルプラザ(12階)						区境ホール	TVACフロア	
		A(10階)	B(10階)	A(12階)	B(12階)	C(12階)	D(12階)			
2月6日(金)	夜間	19:00 ~ 21:00	14 NPOにおける 労働環境の今 と未来 19:00~21:00	01 豊かな人生を 考える 19:00~21:00				21 「語り」をきい て一緒に語ろ う! 19:00~21:00		
	午前①	9:20 ~ 9:50				27 オープニング全体会 9:20~9:50				
2月7日(土)	午前②	10:00 ~ 12:30	15 助成金って なんだろう? 10:00~12:30	16 ボランティア活動 の効果を可視化し てみませんか? 10:00~12:30	02 市民と自転車 の未来 10:00~12:30	08 気づき ~「地域」で共 に暮らす~ 10:00~12:30	03 ソーシャル・グッ ド! な、お買い 物 10:00~12:30	23 みんなで創る 新しい教育の カタチ 10:00~12:30	32 ふれあい満点 市場 10:30~17:00	
	午後	13:30 ~ 16:00		17 地域と大学がと もに歩む協働の 指針を考える 13:30~16:00	09 セルフヘルプ から、こんにち は! 13:30~16:00	10 考えてみよう、わ たしたちの暮ら し・地域・つながり 13:30~16:00	04 まちからむらへ ~IJU(移住) のススメ~ 13:30~16:00	24 あの時、被災 地に駆けつけ た全ての人へ 13:30~16:00		31 民間助成金 相談 ①2月7日(土) 13:30~15:30
	夜間	17:00 ~ 20:00		18 思わず参加したく なるボランティアア プロگرامづくりと 集め方 17:00~20:00	30 みんなどうして る?セルフヘルプ グループの運営 17:00~20:00	11 中退は学生だ けの問題じゃ ない 17:00~20:00	05 世界の貧困問 題に対し、私た ちができること 17:00~19:30	22 集団的自衛権 は本当に日本 を守るのか?! 17:00~20:00		33 Open Café ①2月7日(土) 10:30~17:00 ②2月8日(日) 10:30~16:30
2月8日(日)	午前	10:00 ~ 12:30				12 「みんな独り」な東 京で、動き出した、 ゆるやかな解決 10:00~12:30	06 新しい日本の ローカルを支 える人たち 10:00~12:30	25 さまざまな「社 会貢献」への 関わり方 10:00~12:30		
	午後	13:30 ~ 16:30	26 中学生・高校生の 発信力 13:30~16:30	07 「ちがう」って 何だろう? 13:30~16:30	13 「孤立」を超える 実践~「地域」で 共に暮らす~ 13:30~16:30	19 市民の立場か ら見た地域包 括ケアシステム 13:30~16:30	20 NPO/団体の事業を持 続・加速させる「事業計 画・資金調達計画」 13:30~16:30			
	夜間①	16:50 ~ 18:20				28 クロージング全体会 16:50~18:20				
	夜間②	18:30 ~ 20:00	29 交流会 18:30~20:00							

分科会 紹介

今年度は「Iグローバルとローカル」「II暮らしと居場所」「IIIボランティアと組織運営」「IVいまと未来」という4つのカテゴリーで、合わせて26の「分科会」、さらに3つの「全体会」と4つの「特別プログラム」を開催します。

今、社会で起こっているさまざまな出来事について共有し、誰もが自分らしく生きていくことのできる豊かな社会を築くために、わたしたち市民にできることを一緒に考えていきましょう。

※分科会とは…テーマごとにグループに分かれて、考えたり、話し合ったり、研究したりする会のことです。

I グローバルとローカル ～世界と地域から 市民の暮らしをみつめる～

文化、経済、観光など、国や地域の垣根を越え、

世界規模の往来が盛んになる一方で、

東日本大震災を契機として、自分たちの暮らす

地域の重要性が再認識されました。

現代社会が抱える世界規模の課題と

地域の課題は、非常に密接な関係をもち、

「世界規模のグローバルな視点」と

「地域からみるローカルな視点」との両方で

見ていく必要があります。

さらに、今後はそれらの課題に対し、

実際に行動をしていく市民が求められています。

2つの視点から、世界規模や地域の課題について考え、

自分自身のアクションをはじめませんか。



きいてみよう

講師やパネリストの話聞く
ことが中心の分科会です



はなしてみよう

講師やパネリストと参加者同
士で話し合うことが中心の分
科会です



やってみよう

実際に書いたり、作ったり、
動いたりしながら体感するこ
とが中心の分科会です

01

豊かな人生を考える ～アクティブミドル・シニア の社会参加～



きいてみよう



はなしてみよう

これから社会参加をしていきたいと考えたとき
に、いざ取り組もうとしても、一体何をすればよ
いのか、誰と取り組めばよいのか分からないと

いった声をよく聞きます。

今、働きながら、もしくは定年退職後に地域活動に取り組んでいる
方々の話を聞きながら、豊かな人生に向けて、今からできることを
考えてみましょう。

日時 2月6日(金) 19:00～21:00 定員 30名

出演 シニア世代で地域活動に参加されている方、ミドル世代
(30代・40代)で社会貢献活動に参加されている方

おすすめ 働きながらも社会貢献に携わりたい方
退職した後の社会参加について考えてみたい方

02

市民と自転車の未来

環境、エネルギー資源などの問題に対処するため、自転車の有効利用がカギとなります。しかし、現状の日本は典型的なクルマ社会となっており、自転車を有効に活用する準備が整っていません。ヨーロッパでの取り組みなどを参考に、我が国の都市交通のあり方を考え、市民がどのようなことを考え、取り組みはよいか考えます。



きいてみよう はなしてみよう

日時 2月7日(土) 10:00~12:30 **定員** 30名

出演 自転車まちづくり、公共政策に関する専門家の方
自転車活用、持続可能な交通に関する活動をしている方など

おすすめ 都市交通、まちづくりに関心のある方
環境、持続可能な社会づくりに関心のある方
関心のある方どなたでも

04

まちからむらへ ~IJU(移住)のススメ~

昨今、農山漁村地域から都市へ、という流れとは逆の動きが注目されています。地域の活性化を狙った、農山漁村地域への移住を図る施策や仕組みが数多く生まれ、移住者も少しずつ増えている一方で、実際に定着できない人々もいます。



きいてみよう はなしてみよう

この分科会では、過疎化が進む農山漁村地域の実態や、すでに行われている農山漁村と都市を結ぶ活動を知るとともに、その現状と課題について考えます。さあ、むらへ行こう!

日時 2月7日(土) 13:30~16:00 **定員** 30名

出演 上田英司さん(NPO法人NICE〔日本国際ワークキャンプセンター〕)

加藤梓介さん(第20期緑のふるさと協力隊OB)

鹿住貴之さん(認定NPO法人JUON〔樹恩〕NETWORK)

おすすめ 農山漁村を知りたい、農山漁村に行ってみたい、住んでみたいと思っている方

06

一本音トーク 新しい日本のローカルを支える人たち

現在、日本の地域コミュニティを支える仕組みは多岐にわたっています。古くから地縁団体として存在している町会・自治会は全国的に加入率が低下する一方で、新しい地域コミュニティの形が模索されています。また、海外での地域コミュニティはどう形成されているのかも知り、カテゴリーのテーマの「グローバルとローカル」に沿って考えていきます。これから地域コミュニティを支える世代として期待を受ける人々はどう考えて、どう進んでいけばいいのか、今日は本音で話しませんか?



きいてみよう はなしてみよう

日時 2月8日(日) 10:00~12:30 **定員** 30名

出演 吉原直樹さん(大妻女子大学社会情報学部教授、東北大学名誉教授)

おすすめ 若者から団塊の世代くらいまでの方

03

ソーシャル・グッド! な、お買い物

フェアトレード、ソーシャルビジネス、エシカル消費。「売り手よし・買い手よし・世間よし」の「三方よし」を目指して、普段のお買い物で社会をよくする取り組みですが、そうは言っても実際はどうなのでしょう?



きいてみよう

ソーシャルビジネスに取り組む方々に、成功例や難しさなど実際のところをうかがいます。

日時 2月7日(土) 10:00~12:30 **定員** 40名

出演 友廣裕一さん(一般社団法人つむぎや)

鹿島法博さん(社会福祉法人はる)

勝井裕美さん(認定NPO法人シャプラニール=市民による海外協力の会)

おすすめ ソーシャルビジネスに関心のある方
福祉作業所の職員の方など

05

世界の貧困問題に対し、 私たちができること ~MDGsからポストMDGsへ~

様々な国際問題の解決に向けて、達成目標(MDGs)*が策定されています。世界各国で多くのNPO/NGOが活動している中、私たち市民はどのような関わり方ができるのでしょうか。ワークを通して世界の貧困の「今」を体感し、私たちだからこそできることを一緒に考えていきましょう。※ミレニアム開発目標(MDGs)とは?…国際会議で採択された「2015年までに世界の貧困を半減させよう」という世界共通の目標です。詳細は分科会内でご紹介します。



やってみよう

日時 2月7日(土) 17:00~19:30 **定員** 25名

出演 齋藤斐子さん(JANIC〔認定NPO法人国際協力NGOセンター〕)

貧困問題に対し、実際に支援活動をされている方

おすすめ 国際問題に関心のある方どなたでも

07

「ちがう」って何だろう? ~みんなで考えるお互いを 認め合い共に暮らすヒント~

自分があたりまえに暮らしている文化が他の人からみると違って見えることはありませんか?特に外国につながる人は、学校や地域など、育った環境に大きく影響され、文化の境目が分かりにくくなり、違いを意識せずに暮らしてきた人もいます。この分科会では、子どもたちのつくったある映像を観ながら、外国につながる人もそうでない人も語り合い、「ちがう」と一緒に暮らすきっかけをみんなで考えます。



きいてみよう はなしてみよう

日時 2月8日(日) 13:30~16:30 **定員** 30名

出演 エル・ヘンリーさん(ミャンマーにつながりをもつ高校生)
城川陽祐さん(子どものころ海外での暮らしを経験した社会人)

おすすめ 外国につながる方
これから外国につながるをもちたいと考えている方

当事者とは何か？

ボランティアフォーラムでは、これまででも多くの当事者から話を聞いてきました。

その中から見てきたことは、当事者と言われる人は共に地域に暮らす人であり、誰もが何かしらの課題を持つ当事者であるということ。

そう、私たちこそ当事者なのです。

このカテゴリーでは、さまざまな課題を持つ

当事者（私たち）のを知り、

また、その課題に対してどのような取り組みをし、

より豊かな暮らしを想像し創造するのかを

みなさんと一緒に考えていきたいと思えます。

Ⅱ 暮らしと居場所 ～「地域」で共に暮らす～

08

気づき ～「地域」で共に暮らす～



きいてみよう はなしてみよう

一見何もなさそうに同じ地域ですれ違う一人ひとりには、何かしらの当事者性を持ち暮らしています。それは、認知症の親の介護をする人・発達障がいのある人・一人暮らしの高齢者・DVに悩む人…「地域」は、その多様さの中で悩みが混在している場ではないでしょうか。

分科会では、刑務所を出所した方と薬物依存症回復者から話を聞きし、まず気づくことから、「地域」で共に暮らすということをおみなさんと一緒に考えていきたいと思えます。

日時 2月7日(土) 10:00～12:30 **定員** 20名

出演 野田健二さん(回復共同体ま～る 理事長)

渡辺肇さん(武蔵野ダルク 代表)

おすすめ カテゴリー「暮らしと居場所」に参加される方
関心のある方などでも

09

セルフヘルプから、こんにちは!～当事者 として活動すること、当事者性、当事者とは何かを語る(あるいは、この素晴らしき世界)～



きいてみよう はなしてみよう

気づく・築く、当事者の力(わたしたちのちから)。ボランティアフォーラムでは、これまで様々な企画を通して当事者性や多様性について討議し、固有の課題や障がいを理解

すること、すべての市民が多様な社会に共に生きる大切さを共有しました。今回は、セルフヘルプ活動に至るプロセスに焦点を当て、当事者として活動すること、当事者性、当事者とは何かについて考え、語り合ひましょう。

日時 2月7日(土) 13:30～16:00 **定員** 30名

出演 熊谷晋一郎さん(小児科医、東京大学先端科学技術研究センター 特任講師)

金子磨矢子さん(オルタナティブ・スペース Necco)

入江紗代さん(かんもくの声)

おすすめ 当事者活動、セルフヘルプグループなどに関心がある方
対人援助、人に関わる活動をしている方

10

考えてみよう、わたしたちの 暮らし・地域・つながり～子ども たちとの関わりから見えるもの～



きいてみよう はなしてみよう

言葉や文化、家庭環境の違い、あるいは障がいなどから、友人や学校、地域に馴染めず、孤立しながら暮らしている子どもたちがいます。

この分科会では、子どもたちの暮らしに焦点を当てます。子どもたちの学習支援を行う中で見てきた、子ども、大人あるいは地域の課題に対して、地域のつながり作りや関わり合いの中で取り組んでいる活動を紹介しながら、わたしたちの身近な暮らしの多様性について考え、誰もが地域で安心して豊かに暮らしていくために、それぞれが出来ることを話し合います。

日時 2月7日(土) 13:30～16:00 **定員** 30名

出演 豊原きよみさん(NPO法人でんでん子ども応援隊 理事長)

小林普子さん(NPO法人みんなのおうち 副代表)

おすすめ 関心のある方などでも

11

中退は学生だけの問題 じゃない～若者の孤立を防ぐ 支援の輪とは～



きいてみよう はなしてみよう

現在大きな課題としてクローズアップされている中退問題。当事者はもちろん、その友人や教員、企業など、この問題に関心を寄せる人が大勢いる一方、制度や組織の壁のためにうまく連携できない現状があります。

中退問題は若者を取り巻く問題のひとつの表れであり、その背景には多様で複雑な問題が存在しています。

この分科会では、多角的な視点から若者のおかれている状況を捉え、みなさんと一緒に新たな一歩を踏み出すヒントを見つけたいと思えます。

日時 2月7日(土) 17:00～20:00 **定員** 30名

出演 中島浩壽さん(法政大学、河合塾COSMO 講師)

小倉哲さん(東京YMCA liby)

おすすめ 中退経験者

若者を取り巻く状況に疑問をお持ちの方

12

「みんな独り」な東京で、動き出した、ゆるやかな解決



きいてみよう はなしてみよう

高齢化社会、無縁社会、とよばれて久しい、私たちの住む社会。同じ地域で、一緒に暮らす多くの人が、孤独を抱え、孤立し、当事者性を抱えている。

そんな地域の暮らしの毎日の光明となるような、ゆるやかな解決策となり得る取り組みがある。そのキーワードは「同じ地域で暮らす人同士が、出会い、ゆるやかに関わりあう」こと。いくつかの事例を聞きながら、一緒に、解決のヒントを探してみませんか？

日時 2月8日(日) 10:00~12:30 **定員** 30名

出演 齊藤志野歩さん(株式会社N9.5)
佐藤美千代さん(ひの・まちの生ごみを考える会)

おすすめ 関心のある方どなたでも

13

「孤立」を越える実践~「地域」で共に暮らす~ワークショップ~「その時」あなたならどうする？



きいてみよう はなしてみよう

「社会的孤立」と言うけれど……

「暮らしと居場所~「地域」で共に暮らす~」では、「中退」に直面する若者、子ども達をとりまく「貧困問題」、発達障がいのある方や薬物依存を乗り越えようとする方などについての分科会を設けました。でも、そういう課題を知ったところで、実際にまちの中で「私たちに何が出来るの?」……そんな疑問を抱く方は多いかも知れません。そんな「どうするの?」のちょっとした一場面を、各分科会のエッセンスを踏まえて、さまざまな場面・シチュエーションとして設定します。参加者みなさん、実際にロール・プレイで体験してみましょう!

日時 2月8日(日) 13:30~16:30 **定員** 30名

出演 後藤浩二さん(社会的包摂にむけた福祉教育のあり方研究会(全国社会福祉協議会)研究委員、NPOスーブの会 世話人)

おすすめ 関心のある方どなたでも

Ⅲ ボランティアと組織運営 ~想いを支えるしくみをつくる~

社会課題が多様化・複雑化し、ボランティアの力がますます必要とされる中、一人ひとりの「ボランタリーな想い」こそ、新たな価値を創造する原動力になるのではないのでしょうか。一方で、その「想い」を具体的な形にし、継続していくには、組織づくりや広報、資金の調達など、さまざまな実務も必要となってきます。このカテゴリーでは、ボランティアの価値や効果を改めて見つめなおすとともに、組織の運営に関する新たなアイデアを、参加者の皆さんと一緒に考えたいと思います。

14

NPOにおける労働環境の今と未来~働きがいのあるNPOを目指して~



きいてみよう はなしてみよう

NPOで働く人たちの多くが「低収入」「重労働」という環境に置かれていることが、実態として否めません。一方で、NPOで働くことにやりがいを感じて異業種から参画してくる人々もいます。

NPOで働く人たちが働こうと考えている人たちの、NPOに対するイメージと実態の比較、またNPOが今後社会で価値を提供し続けるために、どのような労働環境が望ましいかについて、模索していきます。

日時 2月6日(金) 19:00~21:00 **定員** 20名

出演 NPOの労働環境について研究されている方

おすすめ NPOで働いている20代~30代の方
民間企業で働いている方

15

助成金ってなんだろう? ~NPOの想い、助成団体の想い~



きいてみよう やってみよう

「NPOの活動資金の集め方を知りたい」「NPO法人になったらお金がもらえるって聞いたけど本当?」など、NPOの資金の悩みはたくさんあります。NPOの財源はさまざまありますが、今回は、

日頃フラットな立場で出会う機会の少ない、NPOと助成団体が、それぞれの想いを交換する機会にします。普段は、助成金を「受ける側」「出す側」として、思っただけなかなか聞きづらいこと、言いづらいことを、共有しましょう。

日時 2月7日(土) 10:00~12:30 **定員** 25名

出演 分科会31の民間助成団体のみなさん

おすすめ NPO・ボランティアグループで活動している方
これから活動したい方
助成団体の方
関心のある方どなたでも

16

ボランティア活動の効果 を可視化してみませんか？



きいてみよう やってみよう

施設などにおいてケアが必要な方と関わるボランティア活動では、相手の方の言葉や表情から活動の効果や意義を感じることが困難な場合も多く、「やりがい」が得にくいことも多いのではないのでしょうか。ボランティアのやりがいを高めるために、ボランティア活動の様々な効果を改めて考え、目に見える形で表す＝可視化に挑戦してみませんか？

日時 2月7日(土) 10:00~12:30 **定員** 30名

出演 村上徹也さん(市民社会コンサルタント)

おすすめ ケアを必要とする方の施設・機関・事業所のコーディネーターおよびボランティアの方
テーマに関心のある方どなたでも

17

地域と大学がともに歩む 協働の指針を考える

～思いのすれちがいを少なくするために～



はなしてみよう やってみよう

「地元にある大学と連携したい」「若い人にボランティアに来てほしい」という声を地域の方から聞きますが、中にはボランティアを人手として捉えていたり、「これじゃ集まらない」と思うものも…。

「もっと大学生のことを知ってほしい」と思う一方で、「本当に地域のニーズに応えられているだろうか」と不安に思うことも…。

そこで、この分科会では、大学生のボランティア活動について、それぞれの思いやその効果を多角的に捉えて、ぶつけ合いながら、大学と地域がともに歩む協働の指針を考えます。

日時 2月7日(土) 13:30~16:00 **定員** 20名

出演 村上徹也さん(市民社会コンサルタント)

おすすめ 大学ボランティアセンターのボランティアコーディネーター、学生ボランティアを受け入れている(受け入れたい)地域・組織・団体の受入担当者、大学生など

18

思わず参加したくなる ボランティアプログラム づくりと集め方



きいてみよう やってみよう

「ボランティアが、思うように集まらない」「どうやって集めるのかわからない」こういった経験はありませんか？

この分科会では、団体や地域の課題を解決しつつ、参加者のニーズにも応えるプログラムづくり、告知の手法を事例を交えながら紹介。また、ボランティアプログラムづくりを疑似体験できるワークショップも行います。

日時 2月7日(土) 17:00~20:00 **定員** 40名

出演 NPO法人NPOコミュニケーション支援機構(a-com)

おすすめ ボランティアを集めたい方

19

市民の立場から見た 地域包括ケアシステム



きいてみよう はなしてみよう

厚生労働省が目指す、地域包括ケアシステム(地域の包括的な支援・サービス提供体制)にボランティア、NPO、自治会、老人クラブにも大きな期待が寄せられています。しかし、実際その立場で地域包括ケアシステムにどう関わればいいのか、明確になっていない部分があります。

市民の立場から見て、この地域包括ケアシステムをどうとらえればいいのか。どう参加すればいいのかを考えます。

日時 2月8日(日) 13:30~16:30 **定員** 25名

出演 和田忍さん(足立区社会福祉協議会、生活支援コーディネーター養成講師候補者)

おすすめ 地域包括ケアシステムの中のボランティア
NPOなどに興味のある方、役割を担う立場の方

20

NPO／団体の事業を 持続・加速させる 「事業計画・資金調達計画」



きいてみよう やってみよう

持続的な活動をするためには、組織基盤を整え、収益を確保しなくてはなりません。そのためには、まず団体のビジョンから事業計画、収支計画をつくる必要があります。

この分科会は、課題解決を加速させるための考え方から資金調達戦略を習得するため講義と、自団体の活動に当てはめて考えていただくワークをしますので、お気軽にご参加ください。

日時 2月8日(日) 13:30~16:30 **定員** 30名

出演 山元圭太さん(NPOマネジメントラボ 代表)

おすすめ NPOや団体の活動を事業化、あるいは持続的な活動にしたいと思っている方
事業計画と資金調達をしっかり立てたいと思っている方



終戦から70年、
 阪神・淡路大震災から20年。
 2015年は、日本にとって
 大きな出来事の節目の年です。
 その間、社会は大きく変化し、
 さまざまな進歩がある反面、
 多くの問題も抱えています。
 ターニングポイントを迎えている現在、
 過去から受け継ぎ、語り継ぐべきもの、
 時代にあわせて変えていくべきもの、
 本当に大切なものを見極める力が
 これまで以上に求められます。
 このカテゴリーでは、未来を見据え、
 そこにつながるいまをどう生きるか、
 みなさんと考えていきたいと思っています。

IV いまと未来

21

平和を考える—第1夜— 「語り」を聞いて一緒に語ろう! ~むかしの戦争から未来へ 平和を語り継ぐために~



きいてみよう はなしてみよう

平和を守るというテーマがあらためて注目され、
 さまざまな立場から議論がされています。

平和が戦争のない状態であるとする、平和を考えるためにわた
 したちは過去にあった戦争の体験をどう知り、何を学ぶことができ
 るのでしょうか。

実体験を話せる方が少なくなりつつあるなかで、未来へ平和を語
 り継ぐことがどのようにできるのか、語り部の話をうかがったあ
 と、ワークショップをしながら一緒に考えます。

日時 2月6日(金) 19:00~21:00 **定員** 30名

出演 温個知新の会(世代を超えたネットワーク)

NPO法人ブリッジ・フォー・ピース

おすすめ 高校生、大学生、社会人青年

22

平和を考える—第2夜— 集団的自衛権は本当に 日本を守るのか?!



きいてみよう はなしてみよう

紛争地域などで活動するNGOは、武力による他
 国への関与が禁止されている平和憲法があるか
 ら「日本人として安全に活動できる」と言います。

集団的自衛権の行使は本当に日本の平和を守ることになるのか?
 現地の活動状況や海外で日本の憲法がどのようにみられているか
 などのお話を聞き、他人事ではいられないその意味を考えます。

日時 2月7日(土) 17:00~20:00 **定員** 30名

出演 海外の紛争地域で活動しているNGO関係者など

おすすめ 関心のある方などでも

23

みんなで創る新しい教育 のカタチ ~広げよう、子どもたちの力~



きいてみよう はなしてみよう

子どもを取り巻く環境が大きく変化する中、学校
 だけではない、多様なメンバーで子どもを育てて
 いくことが求められています。実際、地域住民・

企業・NPO・ボランティアなどによる授業や学校以外の子どもた
 ちの居場所、ボランティア体験などの勉強以外のさまざまな学び
 の場も増えています。未来を担う子どもたち一人ひとりが持つて
 いる力を広げるために、いま出来ることを考えてみましょう。

日時 2月7日(土) 10:00~12:30 **定員** 30名

出演 子ども支援をしている団体、ボランティア

学校支援地域本部の地域コーディネーターなど

おすすめ 教育関係者、子どもに関わっている方

関心のある方などでも

24

あの時、被災地に駆けつ けた全ての人へ ~あの時の想いをふたたび~



きいてみよう はなしてみよう

ボランティア元年と言われた阪神・淡路大震災、あれから
 20年。その間も災害は発生し、2011年3月には東日本大
 震災。その度に、「何かしたい」という想いで、被災地に向
 かった若者たち。阪神・淡路、中越、東日本で、当時の学生たちはどんな経験をし、
 それがその後の人生に与えたものは何だったのでしょうか。この20年の社会
 変化も交えながら、その経験を今後どう活かせるのか、改めて考えてみませんか。

日時 2月7日(土) 13:30~16:00 **定員** 30名

出演 福田信章(東京災害ボランティアネットワーク 事務局長)

加納佑一(東京ボランティア・市民活動センター)

島田悠司(株式会社LITALICO(りたりこ)、NPO法人
 Youth for 3.1 理事)

おすすめ 災害ボランティア経験者

興味のある方などでも

25

さまざまな「社会貢献」への関わり方～未来の「はたらく」を想像・創造しよう～



きいてみよう はなしてみよう

近年、「社会貢献」的な生き方を志向する人々が増えています。企業で働きながらもいわゆる2枚目の名刺をもって活動したり、新卒でNPOに就職したりするなど、これまでとは異なった「はたらき方」「生き方」を選択する人が増えています。

この分科会では、実際にそのような人たちから、話をうかがい、これからの「社会貢献」への関わり方を想像してみたいと思います。

日時 2月8日(日) 10:00～12:30 **定員** 30名

出演 野崎一さん(東京しごとセンター 多様な働き方専門相談員)
横山和毅さん(認定NPO法人カタリバ)

育児、学び直しなどの休職を経て社会貢献に携わる社会人

おすすめ 社会貢献したいと思っている方
NPOで働きたいと思っている方など

26

中学生・高校生の発信力



きいてみよう はなしてみよう



やってみよう

現在、中学生・高校生のボランティア活動は広がりを見せ、日本国内のみならず海外の支援活動も行っています。この分科会では中・高生たちのボランティア実践報告をもとに、グループに分かれて、中・高生による地域ボランティアや日本国内・外の活動の共通点や相違点についての意見交換や、将来取り組みたい(取り組んでもらいたい)ことなどを話し合っていきたいと考えています。

日時 2月8日(日) 13:30～16:30 **定員** 80名

出演 順天中学高校・東京女学館高校・大成高校・都立新宿山吹高校・都立練馬高校・都立第五商業高校のボランティア部などのみなさん

東社協『福祉広報』ユース記者経験者、その他高校生の団体

おすすめ 中学・高校生、中学・高校の先生、社会福祉協議会・ボランティアセンターの職員の方、関心のある方

各分科会とみなさんの声や想いを共有する場として、オープニング・クロージング・交流会の3つの全体会を設けました。

ボランティアフォーラムへの想い、この3日間を通して得た新たな発見、体験、出会いについて語り合いながら、

わたしたち一人ひとりのこれからの、ともに考えていきましょう。

また、特別プログラムでは、東京ボランティア・市民活動センターが普段から取り組んでいる相談活動や市民活動団体の作品の展示・販売をさらにパワーアップしています。のんびり、ほっこりできるフリースペースもご用意していますので、ぜひご利用ください。

全体会・特別プログラム

27

オープニング全体会 ～市民社会の「今」を、想う～



きいてみよう はなしてみよう

ボランティアフォーラムTOKYO 2015のオープニングとして、今回のカテゴリーテーマでもある「グローバルとローカル」「暮らしと居場所」「ボランティアリズムと組織運営」「いまと未来」の4つの視点から、現代社会が抱える「今」をみて、このボランティアフォーラムでどんなことを考え、学び、話し合うのかを考える場とします。

日時 2月7日(土) 9:20～9:50 **定員** 80名

出演 ボランティアフォーラム 実行委員

おすすめ ボランティアフォーラムに参加する方

28

クロージング全体会 ～市民社会の「未来」を、創る～



きいてみよう はなしてみよう

ボランティアフォーラムTOKYO 2015のクロージングとして、みなさんが参加したカテゴリーや分科会で議論したことの報告を受け、参加者のみなさんがおもしろかったこと、発見したこと、伝えたいこと、明日からやろうと思ったことなどを共有・発信します。分科会での熱い想いをもって、直接かけつけてください!

日時 2月8日(日) 16:50～18:20 **定員** 80名

出演 ボランティアフォーラム 実行委員

おすすめ ボランティアフォーラムに参加した方

29

交流会

「今を想い、未来を創る」をテーマに開催してきた3日間のフォーラムの最後のプログラムです。数々の出会いから、ともに学び、議論した仲間との交流を深めましょう。



きいてみよう はなしてみよう

また、今後の活動のために、ネットワークを広げるチャンスです。名刺交換はもちろん、案内やパンフレットの持ち込み大歓迎です。

日時 2月9日(日) 18:30~20:00 **定員** 80名
おすすめ ボランティアフォーラムに参加した方

このプログラムは、フォーラム参加費(2,000円)の他に、軽食代として別途500円(18歳未満300円)が必要です。

30

みんなどうしてる？ セルフヘルプグループ (SHG)の運営



きいてみよう はなしてみよう

「自分と同じ経験を持つ人と出会いたい」「当事者のグループをつくりたい」「団体の運営で困りごとがある」など、SHGの立ち上げや運営に関する悩みは多くあります。今回は、多様な領域のSHGから取り組みや課題をお話いただき、参加者のみなさんと分かち合いながら交流を深めたいと思います。SHGの活動に関心がある、運営を応援したい方も大歓迎です！市民社会にとって重要な存在であるSHG。一緒に考えませんか？

日時 2月7日(土) 17:00~20:00 **定員** 20名
出演 関谷隼人さん(NPO法人ReBit)
田口まゆさん(NPO法人Serenity)
土田義男さん・岩瀬俊男さん(NPO法人悠声会)

おすすめ セルフヘルプグループに関わる方
関心のあるみなさん

31

「想いをかたちに」出会いの 広場~民間助成金相談~



きいてみよう はなしてみよう

ボランティア・市民活動団体にとって、活動の充実や発展のために助成金は重要な財源のひとつです。しかし、助成金申請をしてもなかなか獲得することができないという声も聞かれます。一方、助成団体の方からは、さまざまな団体の話を伺うことで、多様な活動の様子や地域の課題について把握したいという希望も聞かれます。申請する側、助成をする側と出会い、ゆっくり話してみませんか？民間助成金の情報も展示しています。

日時 2月7日(土) 13:30~15:30
2月8日(日) 10:30~12:30
会場 東京ボランティア・市民活動センター ロビー
定員 各日20名
協力 東京都社会福祉協議会民間助成団体部会
民間助成団体役職員の方



32

ふれあい満点市場 ~NPO・NGOの作品展示販売~

通販やインターネットでいろいろなモノが買えるようになった時代。みなさんが買おうとしているモノには、作り手の顔や想いが見えますか？福祉作業所やボランティアグループ、海外協力の現場からサポートを必要とする人たちのために、また、必要とする人たち自ら作成した製品を展示販売します。

日時 2月7日(土) 10:30~17:00
会場 飯田橋セントラルプラザ1階 区境ホール

このプログラムは、入場無料です。時間内いつでも来場できます。

33

Open Café

このフォーラムにはたくさんの人とつながる機会が詰まっています。Open Café(オープンカフェ)は分科会の合間にひと息つきたい、知り合った方々ともう少しお話ししたい、そんなみなさんのためのフリースペースです。



きいてみよう はなしてみよう

おいしいお茶を飲みながら、ゆっくりお話しませんか？当日は、カフェの運営を一緒にやっていただくボランティアを募りながら、くつろぎと交流のスペースをみなさんとともに作り出します。

日時 2月7日(土) 10:30~17:00
2月8日(日) 10:30~16:30
会場 東京ボランティア・市民活動センター ロビー
おすすめ フォーラムにご参加の方
センターへお越しの方

出入り自由、お弁当の持ち込みも可

参加費 …… 1人 2,000円

◎学生割引

- ・大学生・短大生・専門学校生など……**1,000円**
- ・高校生以下または、18歳未満の方……**無料**

※学生証や年齢のわかるものを受付にご提示下さい。

一度、お支払いいただければ、2月6日(金)～8日(日)の複数のプログラムにご参加いただけます。(当日払い。ただし、プログラムによって追加料金が必要な場合があります。)

次のプログラムは入場無料です。

▶「ふれあい満点市場～NPO・NGOの作品展示販売～」

2月7日(土) 10:30～17:00

飯田橋セントラルプラザ1階 区境ホール

▶「Open Café」

2月7日(土) 10:30～17:00

2月8日(日) 10:30～16:30

東京ボランティア・市民活動センターロビー

※「交流会」は、軽食代として別途500円(18歳未満は300円)が必要です。

申し込み方法

東京ボランティア・市民活動センター ホームページ

<http://www.tvac.or.jp/> からお申し込みください。

または、参加申込書(裏面)に必要事項をご記入の上、FAXまたは郵送のいずれかの方法でお申し込みください。

なお、参加希望が多数の場合、ご希望のプログラムにご参加いただけない場合もありますのでご了承ください。

※プログラムによっては内容を変更する場合があります。(その際は、お申し込みをされた方へ事前にご連絡いたします。)

※個人情報は東京ボランティア・市民活動センターが適切に管理し、NPO・ボランティアに関する研修等のご案内に使用させていただきます。個人情報の取り扱いに関する方針はホームページをご覧ください。

親子のための休憩室

親子でご利用いただける休憩室を設けています。

また、有償の託児サービスもありますので、ご希望される場合は、1月23日(金)までに当センターへお問い合わせください。

ボランティア募集

開催期間中、記録(写真撮影)、Open Café などにご協力いただけるボランティアを募集します。

詳しくは1月30日(金)までに当センターへお問い合わせください。

会場案内 …… 飯田橋セントラルプラザ

◎アクセス

- ・JR総武線 飯田橋駅 西口改札右手
- ・地下鉄(有楽町線・南北線・東西線・大江戸線) 飯田橋駅 B2b出口



東京ボランティア・市民活動センターとは

東京ボランティア・市民活動センターでは、ボランティア・市民活動相談やNPOの設立、運営、会計相談、情報提供、研修、ネットワーキングに取り組んでいます。また、会議室や印刷機の利用、貸し出しなども行っています。

ちょっとした打ち合わせにお使いいただけるオープンスペースもありますので、どうぞお気軽にご利用ください。

参加申込書 (FAX・郵送用)

ホームページからお申込できます

市民社会をつくる ボランティアフォーラム TOKYO 2015

ふりがな ----- お名前		所属
ご住所 〒 —		E-mail
TEL ()	FAX ()	必要な配慮について(例: 車いすの介助)

参加したいプログラムの【希望欄】に○印をご記入ください。

日	時間	希望欄	分科会番号	プログラム名	
2月6日(金)	夜間		01	豊かな人生を考える ～アクティブミドル・シニアの社会参加～	
			14	NPOにおける労働環境の今と未来 ～働きがいのあるNPOを目指して～	
			21	平和を考える-第1夜-「語り」をきいて一緒に語ろう! ～むかしの戦争から未来へ平和を語り継ぐために～	
2月7日(土)	午前		27	オープニング全体会 ～市民社会の「今」を、想う～	
			02	市民と自転車の未来	
			03	ソーシャル・グッド! な、お買い物	
			08	気づき ～「地域」で共に暮らす～	
			15	助成金ってなんだろう? ～NPOの想い、助成団体の想い～	
			16	ボランティア活動の効果を可視化してみませんか?	
			23	みんなで創る新しい教育のカタチ ～広げよう、子どもたちの力～	
2月7日(土)	午後		04	まちからむらへ ～JU(移住)のススメ～	
			09	セルフヘルプから、こんにちは! ～当事者として活動すること、当事者性、当事者とは何かを語る(あるいは、この素晴らしき世界)～	
			10	考えてみよう、わたしたちの暮らし・地域・つながり ～子どもたちとの関わりから見えるもの～	
			17	地域と大学がともに歩む協働の指針を考える ～思いのすれちがいを少なくするために～	
			24	あの時、被災地に駆けつけた全ての人へ ～あの時の想いをふたたび～	
			31	「想いをかたちに」出会いの広場 ～民間助成金相談①	
2月7日(土)	夜間		05	世界の貧困問題に対し、私たちができること ～MDGsからポストMDGsへ～	
			11	中退は学生だけの問題じゃない ～若者の孤立を防ぐ支援の輪とは～	
			18	思わず参加したくなるボランティアプログラムづくりと集め方	
			22	平和を考える-第2夜- 集団的自衛権は本当に日本を守るのか?!	
			30	みんなどうしてる? セルフヘルプグループ(SHG)の運営	
2月8日(日)	午前		06	一本音トーカー 新しい日本のローカルを支える人たち	
			12	「みんな独り」な東京で、動き出した、ゆるやかな解決	
			25	さまざまな「社会貢献」への関わり方 ～未来の「はたらく」を想像・創造しよう～	
			31	「想いをかたちに」出会いの広場 ～民間助成金相談②	
	2月8日(日)	午後		07	「ちがう」って何だろう? ～みんなで考えるお互いを認め合い共に暮らすヒント～
				13	「孤立」を越える実践 ～「地域」で共に暮らす～ ワークショップー「その時」あなたならどうする?
				19	市民の立場から見た地域包括ケアシステム
				20	NPO/団体の事業を持続・加速させる「事業計画・資金調達計画」
				26	中学生・高校生の発信力
				28	クロージング全体会 ～市民社会の「未来」を、創る～
2月8日(日)	夜間		29	交流会	

【お問合せ・お申込み先】東京ボランティア・市民活動センター

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 飯田橋セントラルプラザ10階

TEL 03-3235-1171 / FAX 03-3235-0050 / HP <http://www.tvac.or.jp> / Facebook <https://www.facebook.com/voluntaryforumtokyo>